

京都支部健康づくり推進協議会について

全国健康保険協会京都支部健康づくり推進協議会委員

平成27年12月10日

○ 被保険者代表

安馬和美 医療法人稲門会介護老人保健施設しずはうす 副主任

新川俊治 京都青果合同株式会社 執行役員 財務部長

○ 事業主代表

田中光一 田中精工株式会社 代表取締役

増井俊三 明和協同企業組合 代表理事

○ 健康保険委員代表

政田英文 株式会社山岡製作所 調査役

宮地玉美 マイクロニクス株式会社 取締役専務

○ 保健医療関係者

濱島高志 一般社団法人京都府医師会

○ 学識経験者

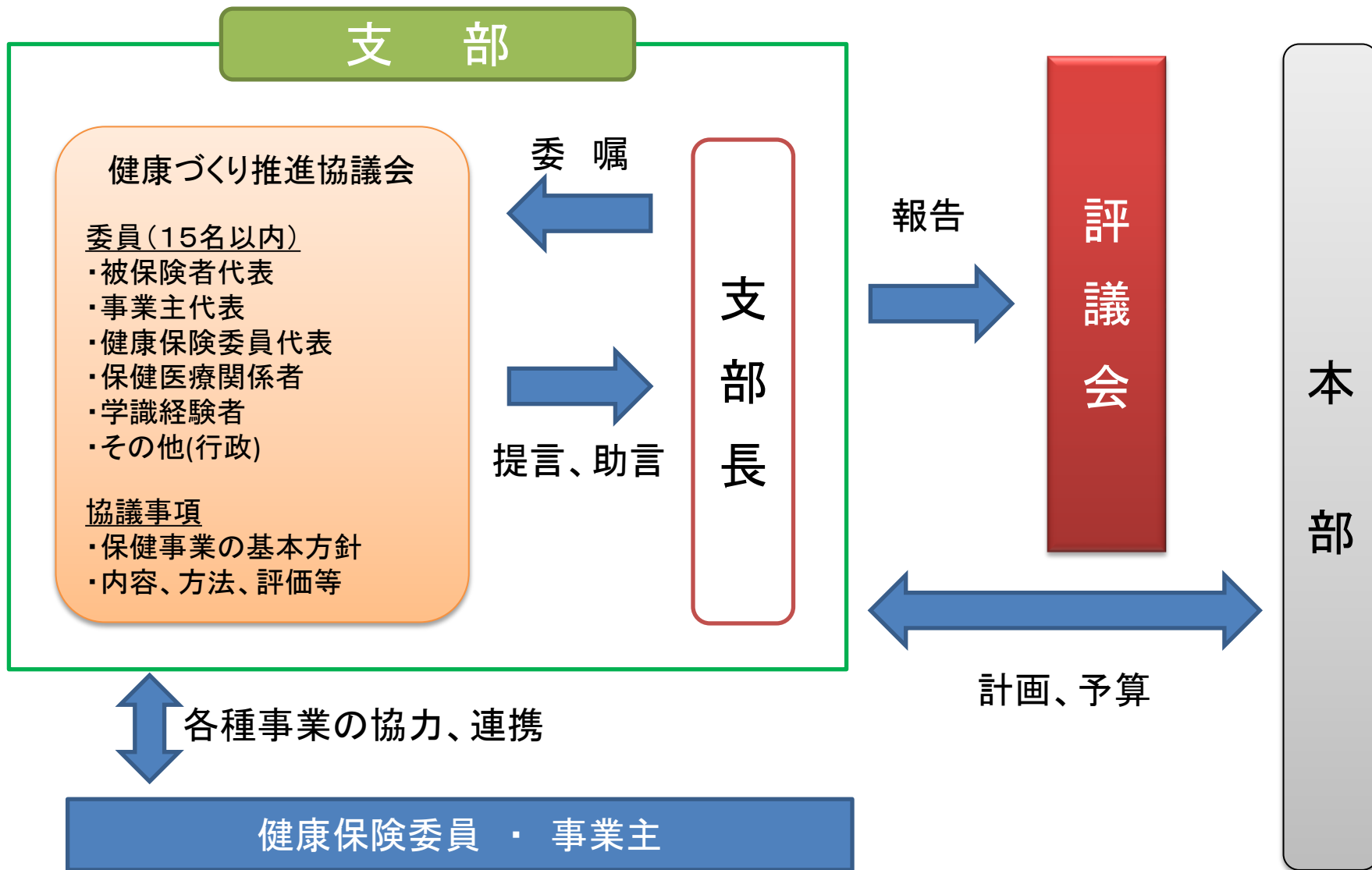
桂敏樹 京都大学大学院医学研究科人間健康科学系専攻教授

○ 行政関係者

丹治和美 京都府健康福祉部健康対策課 副課長

(順不同・敬称略)

保健事業の実施について(イメージ)



第13回京都支部健康づくり推進協議会

《協議会委員からのご意見》

議事2「健診・保健指導の取組状況等について」

(事業者健診データの取得拡大について)

- ・事業主には、事業者健診と生活習慣病予防健診どちらを受診しているかわかりにくい。また、個人情報のため、理解を得られるよう根気強く取組むことが重要。
☞事業主に理解を得られるよう説明を行います。
- ・事業所で提供するデータの作成が難しいため検討が必要。
☞紙媒体での提出も可能である旨、周知を図っていきます。

(特定保健指導の中断率の改善について)

- ・「頑張れ、頑張れ」ではなく、無理せず取り組めるような観点から指導を行うべき。
- ・委託先の医療機関については、内容を分析して一定の評価を行う。また、レベルの高い保健師等の指導内容を参考とすることが重要。
☞支部内、委託先とも保健師のスキルアップを図っていく取組みを進めます。

議事3「データヘルス計画について」

(事業所健康度診断について)

- ・希望した事業所だけでなく全事業所に送付してはどうか。
 - ・事業所の健康状況がわかりやすく把握できるのに申し込みが少ないのは、広報に問題があるのではないか。
- ☞ 今後の課題として検討いたします。